

## PTA 活動紹介（小学校）

### 「笑顔あふれるさのっ子」地域とともに守っていこう

高原町立狭野小学校 教頭 南菌政幸

狭野小学校は、高千穂の峰を間近に望む高原町の南に位置し、創立151年・児童数28名の小規模校です。校区内には、皇子原公園、狭野神社、霧島東神社、御池、湯之元温泉・極楽温泉・皇子原温泉・御池の湯の各温泉、祓川湧水等の多くの観光地があります。本校では、毎年5・6年生が保存会の方に「棒踊り」を運動会で披露しています。また、12月の狭野神楽や祓川神楽にも本校児童が参加しており伝統行事の継承に貢献しています。

PTA 戸数は19戸で、地域とともに笑顔あふれるさのっ子の育成を目指してPTA活動に取り組んでいます。

#### 1 学校や地域のための奉仕活動



狭野小PTAでは、本年度「笑顔あふれるさのっ子」を育成するため、1学期は、各地区での朝のあいさつ運動をはじめ、運動会に向けての奉仕作業及びプール清掃に取り組みました。また、日頃からあいさつ運動や読み聞かせ等で地域の方々にお世話になっていることもあり、本年度はできる範囲で地域に貢献しようということでホテル水路周辺の草刈りも行いました。全国的に地方では少子高齢化が進んでいますが、狭野小の子どもたちが自分たちの学校や高原町を大切にしようとする心を育てることにつながればいいなと思っています。

#### 2 家庭教育学級での取組み

昨年度1月の家庭教育学級で、無病息災を願って榎の枝に色餅を挿して飾る「めのもち」作りに挑戦しました。児童の祖母に講師を依頼して楽しく作りました。出来上がっためのもちの一部は、教室の入口に飾ったり、地域の神社や郵便局・皇子原公園に届けたりしました。親子で交流する良い機会となりました。

また、本年度10月には、家庭教育学級で鹿屋市に研修視察に行きました。今回は、『星塚敬愛園』と『鹿屋航空基地史料館』を訪問しました。説明を伺いながらハンセン病の歴史的な経緯や差別や偏見をなくすために現代に生きる私たちがどのようなことに取り組まなければならないか、第2次世界大戦中に特攻基地の1つであった鹿屋海軍基地の歴史や現在の海上自衛隊の取組みはどのようなものなのかについて学ぶことができました。



#### 3 学校保健委員会への参加



9月の参観日に保護者と3～6年生を対象に「学校保健委員会」を行いました。都城ヤクルト販売の方に講師を依頼し、『食育教室』という題で食べたものが体の中でどのように消化されていくのか、健康な体を維持するためにはどのようなことに気を付ければ良いのかについてお話をしていただきました。お腹の中の良い細菌が活発に働けるようにバランスの良い食事や適度な運動を日常の生活に取り入れることの大切さを学びました。